

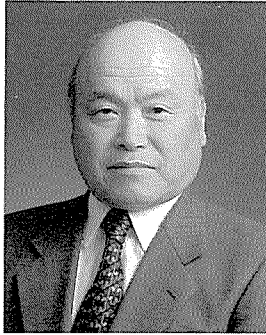


著作目録（小野寺収）

著者	東北大学史料館
号	675
発行年	1998-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065492

小野寺 収 講師 著作 目録

平成10年3月
東北大学記念資料室
(著作目録第675号)



小 野 寺 収 講 師 略 歴

生年月日 昭和10年 2 月25日生
本 籍 宮城県
所 属 東北大学 流体科学研究所

学 歴

昭和28年 3 月 宮城県工業高等学校機械科卒業
昭和36年11月 国家公務員採用中級試験（機械）に合格
昭和37年 9 月 国家公務員採用上級試験（機械乙）合格

学 位

平成 9 年 4 月 博士（工学）（東北大学）

受 賞

平成 2 年 7 月 可視化情報学会 技術賞

職 歴

昭和28年 4 月 東北大学高速力学研究所に工務員として入所（研究室所属）
昭和36年 7 月 同所，教務員，教育職に配置換え
昭和37年 2 月 同所，文部技官に任官
昭和38年 4 月 同所，文部教官（東北大学助手高速力学研究所）
平成元年 5 月 流体科学研究所，文部教官，（東北大学助手流体科学研究所付属衝撃波工学研究センター）に配置換え
平成10年 1 月 流体科学研究所，文部教官
（東北大学講師 流体科学研究所付属衝撃波工学研究センター）
現在に至る

著 作 目 録

I. 研究論文

- 1) 高山和喜, 本田 睦, 小野寺 収: 多孔壁管に沿って伝播する衝撃波の挙動に関する研究, 東北大学高速力学研究所報告, 第34巻, pp. 1-27 (1974).
- 2) K. Takayama, M. Honda, and O. Onodera: Study on the Motion Shock Waves Propagating along Perforated Ducts, Rep. Inst. High Speed Mech. Tohoku Univ. Vol.30, pp.1-30 (1974).
- 3) K. Takayama, M. Honda, O. Onodera and K. Kohama: Motion of Reflected Waves in Shock Tubes, Modern Developments in Shock Tube Research, Proc. 10th Int., pp.320-327 (1975).
- 4) K. Takayama, M. Honda, and O. Onodera: Shock Propagation along 90 Degree Bends, Rep. Inst. High Speed Mech. Tohoku Univ. Vol.35, pp.83-111 (1977).
- 5) 高山和喜, 本田 睦, 小野寺 収, 河内利英: 曲面を過ぎる衝撃波の反射に関する実験的研究, 東北大学高速力学研究所報告, 第44巻, pp. 1-37 (1980).
- 6) 高山和喜, 真田徳雄, 池内 準, 小野寺 収: ホログラフィ干渉計法による超音波振動子まわりの気泡崩壊と衝撃波の生成に関する研究, 東北大学高速力学研究所報告, 第52巻, pp. 21-40 (1984).
- 7) 高山和喜, 真田徳雄, 池内 準, 小野寺 収: 振動式キャビテーション試験で生成する衝撃波の観測, 日本機械学会論文集 (B編), 第50巻, pp. 2275-2284 (1984).
- 8) K. Takayama, H. Esashi, J. Ikeuchi and O. Onodera: Generation and Propagation of Cavitation Induced Shock Waves in an Ultra-sonic Vibratory Testing, Shock Tube and Waves, New South Wales Univ. Press, pp.405-412 (1984).
- 9) K. Takayama and O. Onodera: Shock Wave Propagation Past Circular Cross Sectional 90 Bends, Shock Tubes and Waves, New South Wales Univ. Press, pp.205-212 (1984).
- 10) 高山和喜, 真田徳雄, 池内 準, 小野寺 収: 振動キャビテーション試験で生成する衝撃波のホログラフィ法による観測, 流れの可視化学会誌, 第4巻, pp. 121-126 (1984).

- 11) K. Takayama, O. Onodera, K. Hoshizawa: Experiments on the Stability of Converging Cylindrical Shock Wave, Teoretical and Applied Mech., Proc. 32nd Japan National Congress for Applied Mechanics, Tokyo press, Vol.32, pp.117-127 (1985).
- 12) 高山和喜, 桑原正明, 神部広一, 黒須清一, 折笠精一, 小野寺 収: ホログラフイー干渉法による水中衝撃波の観察, 体外からの肝臓結石破砕への応用について, 流れの可視化学会誌, 第4巻, pp.131-134 (1984).
- 13) K. Takayama, O. Onodera, K. Hoshizawa: Holographic Interferometric Investigation of the Stability of Converging Cylindrical Shock Waves, Proc. Int. Symp. Physical and Numerical Flow Visualization, ASME Fluids Engineering Conference, pp.59-64 (1985).
- 14) K. Takayama, O. Onodera: Holographic Interferometric Study of Propagation and Focusing of Underwater Shock Waves by Micro-Explosions, Optical Methods in Dynamics of Fluids and Solids, IUTAM Symp. Liblice, Czechoslovakia, Springer-Verlag, Berlin, pp.209-216 (1985).
- 15) 高山和喜, 真田徳雄, 池内 準, 小野寺 収: 水中衝撃波を受けて崩壊する空気泡挙動の実験的研究, 日本機械学会論文集 (B編) 第52巻480号, pp.2779-2786 (1986).
- 16) K. Takayama, K. Kambe, M. Kuwahara, O. Onodera: Underwater Shock Wave Focusing An Application to Extracorporeal Lithotripsy, Shock Waves and Tubes, Stanford Univ. Press, pp.641-649 (1986).
- 17) 桑原正明, 神部広一, 小野寺 収, 高山和喜: 水中衝撃波による体外からの腎結石破砕法: 気泡による生体損傷の可能性, 医用電子と生体工学, 第25巻, pp.536 (1987).
- 18) K. Takayama, O. Onodera, K. Itoh, S. Kimura, M. Kuwahara, K. Kambe: Cinematographic Study of Disintegration of Human Calculus by Underwater Shock Wave Focusing, Proc. 4th Int. Symp. on Flow Visualization, pp.803-808 (1987).
- 19) K. Takayama, N. Sanada, O. Onodera, O. Asano, J. Ikeuchi: Interaction of a Gas Bubble with Underwater Shock Waves, Formation of Pit on the Metal Surface, Proc. 16th Int. Symp. on Shock Waves and Tubes, pp.311-317 (1988).

- 20) P. A. Lush, Y. Tomita, O. Onodera, K. Takayama, N. Kuwahara, N. Ioritani, O. Kitayama: Air Bubble-shock Interaction Adjacent to Geratine Surface, Proc. 17th Int. Symp. on Shock Waves and Tubes, Lehigh, Vol.1, pp.831-836 (1989).
- 21) T. Matsumura, O. Onodera, K. Takayama: Recent Research Activities at SWRC, Optical Flow Visualization of Flying Projectiles, Proc. 41st. Asroballistic Range Association Meetings, Sandiego, CA., Vol.2, No.37 (1989).
- 22) 高山和喜, 小野寺 収, 小原哲郎, 桑原正明, 北山 修: 水中微小爆発による衝撃波フォーカシング医療応用への基礎研究, 日本機械学会論文集 (B編), 第57巻, pp.2285-2292 (1991).
- 23) 小野寺英輝, 小野寺 収, 高山和喜: 高速ドラムカメラの試作と衝撃波現象の観察への応用, 日本機械学会 (B編), 第57巻, pp.545-550 (1991).
- 24) H. Onodera, O. Onodera, K. Takayama: Design of a High-Speed Drum Camera and its Application for Shock Wave Research, Rep. Inst. Fluid Sci., Tohoku Univ., Vol.2, pp.49-62 (1991).
- 25) 黄 文 生, 小野寺 収, 高山和喜: 空气中平面激波同因柱の非定常干渉, 空気力学学報第1期, 第24巻, pp.26-31 (1991).
- 26) 松村知治, 佐藤裕久, 北島伸司, 小野寺 収, 高山和喜: 一段式ガス銃を用いた超音速弾道飛行に関する実験, 平成2年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 東京, pp.563-566 (1991).
- 27) 小原哲郎, 小野寺 収, 亀島 望, 高山和喜: Microexplosion による ESWL の基礎実験第1回バイオエンジニアリングシンポジウム論文集, pp.89-90 (1991).
- 28) 富田幸雄, 小原哲郎, 小野寺 収, 高山和喜: ESWL における衝撃波フォーカシング過程に及ぼす第2波の影響, 第1回バイオエンジニアリングシンポジウム論文集, pp.107-110 (1991).
- 29) K. Takayama, T. Obara, O. Onodera: Holographic Interferometric Observation of Underwater Shock Wave Focusing to Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy, SPIE Proc. 19th Int. Congress on High-Speed Photography and Photonics, Vol.1358, pp.1180-1190 (1991).
- 30) H. H. Shi, K. Takayama, O. Onodera: Experimental Study of Pulsed High-Speed Liquid Jet, JSME Int. J., Vol.36, No.4, pp.620-627 (1993).

- 31) 鈴木清隆, 小野寺 収, 高山和喜: 圧力波過給機に関する数値シミュレーション, 東北大学流体科学研究所報告, 第4巻, pp. 149-161 (1993).
- 32) 船橋茂久, 小野寺 収, 佐本章弘, 高山和喜: 高速列車のトンネル突入によって誘起される衝撃波騒音について, 東北大学流体科学研究所報告, 第4巻, pp 134-148 (1993).
- 33) 松村修二, 関根紀明, 小野寺 収, 金子良一, 松井良博: 自動車排気管内の衝撃波の生成と排気騒音, 東北大学流体科学研究所報告, 第4巻, pp. 113-132(1993).
- 34) S. Matsumura, O. Onodera, K. Takayama: Noise Indused by Waak Shock Waves in Automobile Exhaust Systems, Proc. of 19th Int. Symp. of Shock Wave Marseille, pp.367-372 (1993).
- 35) 佐本章弘, 高山和喜, 小野寺 収, 金子良一, 松井良博: 高速列車のトンネル突入による衝撃波発生に関する実験, 日本機械学会論文集 (B編), 第60巻575号, pp. 2307-2314 (1994).
- 36) 佐本章弘, 高山和喜, 小野寺 収, 金子良一, 松井良博: トンネルソニックブームの軽減法に関する実験的研究, 日本機械学会論文集 (B編), 第60巻570号, pp. 4112-4188 (1994.12).
- 37) H. H. Shi, K. Takayama, O. Onodera: Supersonic Diesel Fuel Injection through a Single-Hole Nozzle in a Compact Gas Gun, JSME. Int. J., Vol.37, No.3, pp.509-516 (1994).
- 38) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 弱い衝撃波の生成を目的としたゴム膜を開口弁に用いる衝撃波管の特性について, 日本機械学会論文集 (B編), 第60巻570号, pp. 473-479 (1994).
- 39) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: ゴム膜の急速移動により衝撃波を発生する衝撃波管の特性について, 東北大学流体科学研究所報告, 第5巻, pp. 61-82 (1994).
- 40) 関根紀明, 小野寺 収, 高山和喜: 衝撃波に対する消音器の特性に関する研究 (第1報, 消音機内の衝撃波の伝播の様子), 日本機械学会論文集 (B編), 第60巻, 575号, pp. 79-84 (1994.7).
- 41) K. Takayama, A. Sasoh, O. Onodera, H. Ojima, T. Ogawa, J. Yang, R. Kaneko, O. Matsui: Holographic Interferometric Observation of Weak Shock Wave Generated by Entrance of High speed Train into a Long Tunnel, SPIE 21st. Int. Congress on High Speed Photography and Photonics, Tajon, Korea, Vol.2513, pp.294-303 (1994).

- 42) A. Sasoh, O. Onodera, K. Takayama: Scaled train tunnel simulator for weak shock wave generation experiment, Review of Scientific Instruments, Vol.65, No.9, pp.3000-3004 (1994).
- 43) 関根紀明, 小野寺 収, 高山和喜: 衝撃波に対する消音器の特性に関する研究, (第2報, 消音器内の圧力特性), 日本機械学会論文集 (B編), 第61巻, 584号, pp.36-41 (1995. 4).
- 44) O. Onodera, H. Ojima, T. Ogawa, K. Takayama: Holographic Interferometric Observation of Three Dimensional Shock Wave Phenomena, 22nd Int. Congress on High Speed Photography and Photonics, Santa Fe, pp.349-358 (1996).
- 45) 小野寺 収: 三次元衝撃波のホログラフイー干渉計法による可視化に関する研究, 博士論文 (東北大学.工学) (1997).

口 頭 発 表

- 1) 富田幸雄, 小原哲郎, 小野寺 収, 高山和喜: ESWLにおける生体組織損傷模倣実験 (ゼラチン層内を進行する液体マイクロジェットの挙動解明), 日本機械学会第68期全国講演会論文集, pp.148-150 (1991).
- 2) 小野寺英輝, 小野寺 収, 高山和喜: 3チャンネルドラムカメラの試作と衝撃波現象への応用, 日本機械学会講演論文集, pp.252-254 (1991).
- 3) 小野寺英輝, 高山和喜, 小野寺 収, 小島英則, 高橋喜久雄: 高速ドラムカメラの試作と気中微小爆発の可視化計測, 可視化情報学会誌, 第10巻, pp.257-262 (1991).
- 4) K. Takayama, T. Obara, O. Onodera: A Study of Shock Wave Focusing in Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy, Digest of the World Congress on Med. Phys. and Biomed. Enrg. Vol.29, pp.871 (1991).
- 5) 松村知治, 北島伸司, 小野寺 収, 高山和喜: ガス銃を用いた弾道飛行に関する研究, 日本航空宇宙学会北部支部講演論文集, pp.76-81 (1991).
- 6) 松村知治, 小野寺 収, 高山和喜: SWRC 二段式軽ガス銃の特性について宇宙輸送シンポジウム講演論文集, pp.93-99 (1991).
- 7) T. Matsumura, O. Onodera, S. Kitashima, K. Takayama: Recent Aeroballistic Range Program at SWRC, Proc. 42nd Aeroballistic Range Association Meeting, Adelaide, No.9 (1991).

- 8) H. Wensheng O. Onodera, K. Takayama: Unsteady Interaction of Shock Wave Diffraction Around a Circular Cylinder in Air, *Acta Mechanica Sinica*, Vol.7, No.4 (1991).
- 9) 佐宗章弘, 小野寺 収: VISAR とホログラフィー干渉, 日本航空宇宙学会北部支部主催「レーザー計測の基礎と応用」仙台 (1992).
- 10) 松村知治, 船橋茂久, 小野寺 収, 北島伸司, 高山和喜: バリスチックレインジにおける高速飛行体まわりの流れの可視化実験, 平成3年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 東京, pp.93-96 (1992).
- 11) 大内宏伸, 松村知治, 北島伸司, 小野寺 収, 高山和喜: VISAR 速度計を用いた飛行体速度履歴の計測, 平成3年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 東京, pp.543-544 (1992).
- 12) 関根紀明, 松村知治, 北島伸司, 小野寺 収, 高山和喜: 衝撃波を伴う流れにおける消音器の特性に関する研究, 平成3年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 東京, pp.697-702 (1992).
- 13) 渡辺正人, 小野寺 収, 高山和喜: 縦型二重円筒衝撃波管を用いた円筒衝撃波の収縮に関する研究, 平成4年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 仙台, pp.81-84 (1993).
- 14) H. H. Shi, K. Takayama, O. Onodera: Experimental Study of Pulsed High-Speed Liquid Jet, 東北大学流体科学研究所第5回研究発表講演論文集, pp.49-56 (1993).
- 15) 施 紅 輝, 小野寺 収, 高山和喜: 高速流体ジェットの生成法, 平成4年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 仙台, pp.651-655 (1993).
- 16) 施 紅 輝, 山田 潔, 小野寺 収, 高山和喜: PVDF 膜圧力ゲージを用いた高速流体ジェットの衝突圧力計測, 平成4年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 仙台, pp.651-655 (1993).
- 17) 斎藤 務, 小野寺 収, 高山和喜: 高速列車のトンネル通過による衝撃波の発生, 日本機械学会第71回全国大会講演論文集, 広島, 第C巻, pp.277-279 (1993).
- 18) T. Saito, S. Funabashi, O. Onodera, A. Sasoh, K. Takayama: A Numerical and Experimental Study of Sonic Booms Generated from High Speed Railway Tunnels, *Proc. of 19th Int. Symp. of Shock Wave*, Marseill, pp.353-358 (1993).

- 19) 北島伸司, 三好 仁, 松村知治, 大内宏伸, 小野寺 収, 高山和喜: 火薬銃による飛行体まわりの可視化計測, 平成4年度衝撃波シンポジウム衝撃波シンポジウム講演論文集, 仙台, pp. 669-672 (1993).
- 20) 関根紀明, 小野寺 収, 高山和喜: 衝撃波を伴う流れにおける消音の特性について, 平成4年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 仙台, pp. 467-470 (1993).
- 21) 浅野高久, 伊藤勝広, 小野寺 収, 高山和喜: 自由ピストン衝撃波風洞による衝撃波管の特性について, 高速度撮影とフォトリクスに関する総合シンポジウム, 福岡, pp. 124-127 (1993).
- 22) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: ゴム膜を急速開口弁に用いる衝撃波管の特性について, 日本機械学会第71期全国大会講演論文集, 広島, pp. 295-297 (1993).
- 23) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 無隔膜衝撃波管の作動特性について, 日本航空宇宙学会北部支部講演論文集, pp. 17-20 (1993).
- 24) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 無隔膜衝撃波管の動作特性について, 平成4年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 仙台, pp. 665-668 (1993).
- 25) 日黒俊勝, 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 二重直角屈折管内を伝播する衝撃波の挙動, 日本機械学会第71期全国大会講演論文集, 広島, pp. 301-311 (1993).
- 26) 日黒 俊勝, 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 二重曲がり管内の衝撃波の減衰に関する研究, 東北大学流体科学研究所第5回研究発表講演論文集, pp. 142-145 (1993).
- 27) 高山和喜, 佐宗章弘, 小野寺 収, 金子良一, 松井良博: トンネル衝撃波騒音に関する実験研究, 東北大学流体科学研究所第6回研究発表講演論文集, pp. 202-212 (1993).
- 28) 佐宗章弘, 高山和喜, 小野寺 収, 金子良一, 松井良博: トンネルシュミレーターによるソニックブーム発生模擬実験, 平成年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 千葉, pp. 377-380 (1994).
- 29) 小野寺 収, M. Olim, 高山和喜: 斜めにおかれた円筒を過ぎる衝撃波の三次元反射, 平成5年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 千葉, pp. 495-498 (1994).
- 30) 小野寺 収: ホログラフィー干渉計法を用いた流れの可視化, 可視化情報学会講習会「流れの可視化診断」テキスト, pp. 40-60 (1994).
- 31) 山田 潔, 小野寺 収, 富田幸雄, 高山和喜: 衝撃波作用による気泡の挙動に関する実験的研究, 日本機械学会第72期全国大会講演論文集, 札幌, pp. 113-115 (1994).

- 32) 施 紅 輝, 永易伸生, 小野寺 収, 高山和喜: 極超音速ジェットの発生, 日本機械学会第72期全国大会講演論文集, 札幌, pp. 112-114 (1994).
- 33) 施 紅 輝, 高山和喜, 小野寺 収, 青柳友三, 杉原啓之: ガス銃を用いた五噴孔ノズルを過ぎる超音速ディーゼル燃料ジェットの噴射, 平成5年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 千葉, pp. 385-386 (1994).
- 34) 浅野高久, 小野寺 収, 高山和喜, 伊藤勝宏: 自由ピストン衝撃波風洞を用いた高エンタルピー流れに関する実験研究, 平成5年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 千葉, pp. 57-60 (1994).
- 35) 浅野高久, 小野寺 収, 高山和喜, 伊藤勝宏: ストーカー管の実験研究 (高エンタルピー流れの発生とその可視化, 航空宇宙学会北部支部ラム/スクラムジェットシンポジウム, pp. 163-168 (1994).
- 36) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: ホログラフィー干渉計法による衝撃波回折に関する研究, 可視化情報学会誌, 第14巻, 1号, pp. 85-88 (1994).
- 37) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 無隔膜衝撃波管を用いた衝撃波反射に関する研究, 平成5年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 千葉, pp. 555-558 (1994).
- 38) J. Yang, O. Onodera, K. Takayama: A Study of Performance of a Diaphragmless Shock Tube with Very High Repeatability, 日本機械学会第71期通常総会講演論文集(3), 東京, pp. 359-361 (1994).
- 39) 目黒俊勝, 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: 衝撃波の三次元挙動の可視化, 可視化情報仙台講演会講演論文集, 第14巻, 2号, pp. 35-38 (1994).
- 40) 小野寺 収, 高山和喜, B. Milton: 円錐管内の衝撃波の挙動の可視化, 平成6年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 661-664 (1995).
- 41) K. P. B. Moosad, 姜 宗 林, 小野寺 収, 高山和喜: Micro Shock Waves Generated by Focusing Pulsed Laser Beams, 平成6年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 217-220 (1995).
- 42) 楊 基 明, 小野寺 収, 高山和喜: ゴム膜を急速開口弁に用いる衝撃波管の特性について (第2報, 作動特性), 平成6年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 653-656 (1995).
- 43) 施 紅 輝, 高山和喜, 小野寺 収, 永易伸生: 極超音速液体ジェットによる金属板の貫通, 平成6年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 529-530 (1995).
- 44) 目黒俊勝, 楊 基 明, 斎藤 務, 小野寺 収, 高山和喜: 直交するくさびを過ぎる衝撃波の三次元反射に関する実験的, 数値解析的研究, 平成6年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 81-84 (1995).

- 45) 佐藤孝司, 小野寺 収, 高山和喜, W. Isbell : 小型二段銃軽ガス銃の試作, 平成 6 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 637-641 (1995).
- 46) 是本健介, 浅野高久, 小野寺 収, 高山和喜, 木村好和, 伊藤勝宏 : 自由ピストン衝撃波風洞の作動特性, 平成 6 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 641-644 (1995).
- 47) 板橋 秀, 小野寺 収, 小島英則, 小川俊広, 楊 基 明, 高山和喜 : 100mm×180 mmの極超音速衝撃波管の特性について, 平成 6 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 645-649 (1995).
- 49) 小野 徹, 佐宗章弘, 小野寺 収, 小島英則, 小川俊広, 高山和喜, 金子良博 : トンネルソニックブームの低減に関する実験的研究, 平成 6 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 137-140 (1995).
- 50) 姜 宗 林, 高山和喜, 小野寺 収, 小島英則, 目黒俊勝 : 断面積変化のある管内の衝撃波伝播, 平成 6 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, 横浜, pp. 665-668 (1995).
- 51) 小野寺 収, 高山和喜 : 三次元ホログラフィー法による衝撃波の研究, 可視化情報学会講演論文集, 鹿児島, pp. 11-14 (1995).
- 52) 小野寺 収, 高山和喜, 佐宗章弘, 小島英則, 小川俊広, 斉藤 務, 谷口宏充 : 火山噴火に伴う爆風圧の計測に関する研究, 日本機械学会東北支部一関地方講演会講演論文集, pp. 104-106 (1995).
- 53) 高山和喜, 小野寺 収 : 衝撃波現象の三次元可視化, 三次元映像のフォーラム, Vol.9, No.5, pp.10-13 (1996).
- 54) 小野寺 収, 小島英則, 小川俊広, 高山和喜 : 三次元ホログラフィー法による衝撃波の観測法, 平成 7 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 607-610 (1996).
- 55) 斉藤 務, 小野寺 収, 小島英則, 小川俊広, 高山和喜, 早川 理, 谷口宏充, 藤井直之 : 阿蘇中岳の爆風システムの設置に関する研究, 平成 7 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 527-530 (1996).
- 56) 是本 健介, H. Babinsky, 小野寺 収, 高山和喜, 伊藤勝宏 : 極超音速自由ピストン衝撃波風洞の作動特性に関する実験的, 数値解析的研究, 平成 7 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 23-26 (1996).
- 57) E. Timofeev, P. Voinovich, T. Saito, A. Galyukov, K. Takayama, O. Onodera : Numerical and Experimental Study of Three-Dimensional Unsteady Shock Wave Interactions, 平成 7 年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 103-106 (1996).

- 58) 目黒俊勝, 小野寺 収, 高山和喜: 直行するくさびを過ぎる衝撃波の三次元的反射, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 107-109 (1996).
- 59) 板橋 秀, 目黒俊勝, 小野寺 収, 小川俊広, 高山和喜: ピストンを急速開口弁に用いる100mm×180mm衝撃波管の特性, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 211-214 (1996).
- 60) 佐藤孝司, 小野寺 収, 高山和喜: 小型二段式軽ガス銃を用いたスペースデブリバンパーシールドの開発に関する研究, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 235-238 (1996).
- 61) 是本健介, 小野寺 収, 高山和喜: 高エンタルピー自由ピストン衝撃波風洞の光学可視化, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 587-594 (1996).
- 62) 姜 宗 林, 小野寺 収, K. P. B. Moosad, 高山和喜, H. Babinsky: マイクロ衝撃波とその反射に関する数値シミュレーション, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 591-594 (1996).
- 63) H. Babinski, O. Onodera, K. Takayama, T. Saito, E. Timofeev, P. Voinovich: Shock Focusing in Cylindrical Cavities, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 595-606 (1996).
- 64) 目黒俊勝, 小野寺 収, 高山和喜: 三次元衝撃波の反射に関する研究, 平成7年度衝撃波シンポジウム講演論文集, pp. 603-606 (1996).
- 65) 小野寺 収, 高山和喜: ディフューズホログラフィー法による衝撃波の観測法, 日本機械学会第73期通常総会講演論文集(3), pp. 393-394 (1996).
- 66) O. Onodera, Z. Jiang and K. Takayama: Holographic Interferometric Observation of Shock Waves Discharged From an Open-End of a Square Cross-Sectional Shock Tube, Proc. of Int. Conference on Fluid Engineering, Vol.2, pp.617-672 (1997).
- 67) S. H. R. Hosseini, O. Onodera, and K. Takayama: Stability of Converging Cylindrical Shock Waves, Proc. of Int. Conference on Fluid Engineering, Vol.2, pp.611-616 (1997).